科目ナンバリング	U-LAS04 10011 LJ45						
授業科目名 <英訳>	社会学II Sociology II			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授　　吉田　純		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	教育・心理・社会(基礎)	使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・後期	曜時限	月3/火5	配当学年	全回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

20世紀に始まり現在に至る現代文化の諸側面について、都市・消費・情報の3要素を基軸として、社会学の理論枠組を用いて考察する。

[到達目標]

社会学の理論枠組を用いて現代文化について考察することを通じて、社会・文化を客観的・批判的にとらえることのできる視点・発想を身につける。

[授業計画と内容]

現代文化の諸側面について、下記の順序で講義を進める。前半(1〜6回)は、都市・消費・情報の3要素を基軸とした総論的内容、後半(7〜14回)は、現代文化の具体的な諸領域を対象とした各論的内容となる。

1. オリエンテーション / [序] 現代文化のとらえ方
2. [1] 都市文化としての現代文化
3. [2] 消費文化としての現代文化
4. [3] 情報文化としての現代文化
5. [4] グローバル文化としての現代文化
6. [5] 文化と権力
7. [6] 情報メディアの変容
8. [7] 映像化社会　―映像の日常化／日常の映像化―
9. [8] 音楽化社会　―音楽の環境化／情報化―
10. [9] 日本のサブカルチャー ―「オタク系」文化の展開―
11. [10] スポーツ文化　―スポーツの消費化／情報化―
12. [12] 観光文化　―「オーセンティシティ」の構築―
13. [14] 文化現象としての「支援」 ―「ボランティア」の可能性―
14. （総まとめ）現代文化のゆくえ
15. フィードバック (PandA上で実施)

([ ]内は参考書『〔全訂新版〕現代文化を学ぶ人のために』の章番号)

[履修要件]

特になし

社会学II(2)へ続く↓↓↓

社会学II(2)

[成績評価の方法・観点]

・平常点（40点満点）および学期末レポート（60点満点）による
・平常点は、PandAを用いた講義各回ごとの課題の提出による (詳細は初回授業で説明する)
・学期末レポートの概要も、初回授業で説明する

[教科書]

使用しない
PandAサイトで講義資料を配布する

[参考書等]

（参考書）
井上 俊 (編) 『〔全訂新版〕現代文化を学ぶ人のために』（世界思想社）ISBN:4790716368
毎回の配布資料でも参考文献を紹介する。

（関連ＵＲＬ）
https://socius.jp/?page_id=51(参考サイト：『社会学感覚』（野村一夫・国学院大学教授）)

[授業外学修（予習・復習）等]

・PandAサイトで事前配布する資料を予習しておくこと
・資料の当日配布は行わないので、必ず各自で事前にダウンロードし、講義当日持参すること (必ずしも印刷する必要はない)
・PandAサイトで復習用課題を実施する (詳細は初回授業で説明)

[その他（オフィスアワー等）]

・社会のリアルタイムの動きに対する関心・好奇心の旺盛な学生を歓迎する
・PandAサイトを上記の課題実施ほか、授業に関する各種連絡に活用する (利用方法は初回の授業で説明)
・教室定員に収めるため履修人数制限を行います

[主要授業科目（学部・学科名）]